



社員総会を開催

6月28日、ホテル北野屋ハーモニーホールにおいて、令和5年度海の京都DMOの定時社員総会を開催しました。今回の総会が、昨年度社員総会で新社長に選任された村瀬社長の下で行われる初めての総会で、令和4年度事業実績、令和5年度事業計画及び収支予算の報告を行い、令和4年度の収支決算などの承認を受けました。

村瀬社長あいさつ



海の京都DMO社長
村瀬 茂高

皆さまこんにちは。海の京都DMOの社長を務めております村瀬茂高です。日頃から海の京都DMOの活動に対しまして、多大なるご支援・ご協力をいただいておりますこと、誠にありがとうございます。

海の京都DMOでは、これまでから観光地域づくりに取り組んできたところですが、本年度特に力を入れて取り組む3つの事業についてご紹介します。

一つ目は「海の京都コイン事業」です。昨年11月7日から、海の京都エリア内の市町に対するふるさと納税の返礼品として、電子商品券「海の京都コイン」を発行する事業に取り組んできたところです。今年度は納税額1,700万円を目標に、更なる納税額増及び加盟店の増加に向けた取組を進めております。

二つ目は「シンガポールプロジェクト」です。コロナ後のインバウンド回復を見据え、アジアをターゲットとしたBtoCの取組として、今年度はシンガポールをモデル国に取り組みます。海の京都エリア内の意欲ある事業者へ、シンガポール人向けの商品造成をしていただき、10月には現地イベントに出展、その上で冬には実際に商品販売を開始するよう進めております。

三つ目は「データ交換所プロジェクト」です。観光庁「事業者間・地域間におけるデータ連携等を通じた観光・地域経済活性化実証事業」の採択を受け、データ収集や活用を促進させるデータプラットフォームを構築し、観光事業者等が活用できるデータ交換所へと展開していくこととしています。新型コロナウイルスの感染症法上の分類変更や入国時の制限緩和等により徐々に国内外の観光客もコロナ禍前の状況に戻りつつあります。海の京都DMOは観光地域づくりの司令塔として、皆さまと一体となり、地域の観光事業の発展と促進に寄与してまいりますので、引き続きご支援・ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和5年度主要事業

- 海の京都コイン事業 【7,100千円】
- シンガポールプロジェクト 【11,000千円】
- データ交換所プロジェクト 【65,900千円】



観光庁DX実証事業に「海の京都」が採択！

令和5年度の観光庁実証事業*で、「海の京都観光DX推進協議会」は全国で採択された7件の内の一つに選ばれました。評価されたポイントは、①データを集めるだけでなく具体的な活用が期待できること、②これまでも具体的なデータ活用の取組みを行っており成長が期待できること、③専用システムではなくクラウドを中心に活用することから他地域での展開性・再現性が期待できることが挙げられました。

*「事業者間・地域間におけるデータ連携等を通じた観光・地域経済活性化実証事業」



実証事業の中では「海の京都コインの強化」「観光デジタルマップの作成」「CRMの高度化」「データのオープン化」などに取組みます。

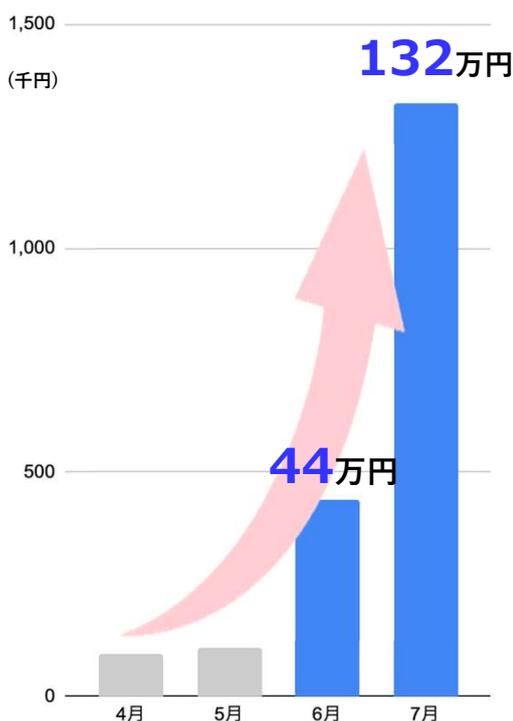
たとえば・・・観光デジタルマップを活用することで

- ★おすすめ観光コースの可視化（地図上に観光ルートが表示される）
 - ★デジタルスタンプラリー（周遊観光すると海の京都コインがもらえる）
 - ★HPへの埋めこみができる（お宿のHPでデジタルマップが使える）
- ・・・などの実現を目指します。

実証事業の取組みは、今年度に各市町で開催する「DMOサロン」の中で取組の内容や進捗を共有させていただき、事業者の皆さまと意見交換をしていきたいと考えています。

今年度の「DMOサロン」に、ぜひふるってご参加ください！

海の京都コイン（旅先納税）順調に成長！！



令和5年度 旅先納税 寄付実績

昨年11月より開始した「海の京都コイン」事業が順調に伸びています。海の京都コインは主にふるさと納税の返礼品として発行していますが、今年度に入り、ふるさと納税の寄付額が大きく伸び続けています。6月に大きく伸び、7月はさらに3倍のふるさと納税がありました。**ふるさと納税するとすぐ返礼品の「海の京都コイン」が届く点や訪れた地域をふるさと納税で応援できる点**が観光客から好評いただいています。

海の京都コイン加盟店数も2倍に

サービス開始時の加盟店数は108店舗でしたが、**倍以上の店舗まで**増えています。観光客からも「**利用できるお店が増えてほしい**」とのご要望をいただいています。

海の京都コインは、加盟店に対し**決済手数料無料、決済金額10%上乘せ施策**を実施中です。観光客にも加盟店にも町全体にもメリットが大きな取組みです。多くの事業者の方にご参画いただき、海の京都エリア全体で「**地域の稼ぐ力**」を向上させていきたいと考えております。

加盟店の皆さまは引き続き店頭でのチラシ告知などにご協力ください！

シンガポールプロジェクト

海の京都DMOでは、シンガポール人（以下：SG）に海の京都エリアへお越し頂くための取組／シンガポールプロジェクトを行っています。SGは富裕層の割合が高く、ASEAN諸国の中でブームを作るリーダー的な存在に目を付けました。取組の大きなポイントは次の二つです。

- ①観光プランとしてSG向け体験コンテンツを造成・販売
- ②エリア内の食産物をSG国内で販売し、美味しい「海の京都」のイメージを広める海の京都のブランド化

そのためにSGプロジェクトに公募で参画された10事業者様と①②の目的遂行のための勉強会／海の京都観光大学SG講座を開催、7月にはSG現地視察を行いました。

今後はSGで10月に開催される①Food Japan、②Japan Rail Fairと二つのイベントに事業者の皆様と参加し、商品・コンテンツの販売を行う予定です。



7/16～19に行われた事業者によるSG視察及び一般消費者への商品プレゼン

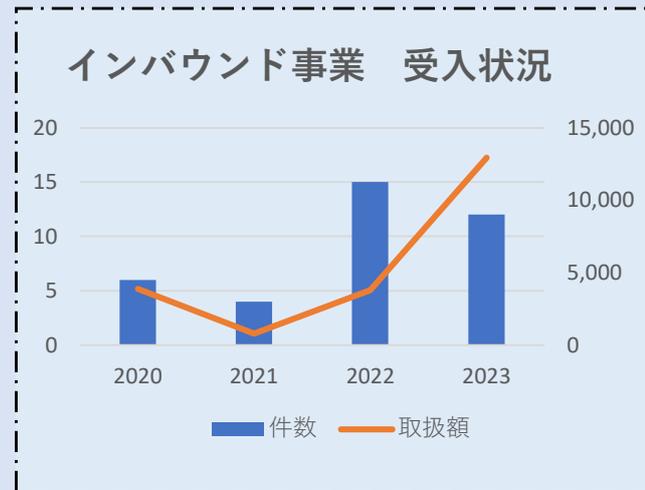
インバウンドの状況について（R5. 7月末時点）

コロナ収束後（4月以降）、台湾を中心に多くのインバウンド旅行者が、海の京都エリアを訪れています。

とりわけ、新たな市場である欧米豪の富裕層については、パートナーシップ企業「JAPAN-SAN（英国）」との連携がうまく機能し、海外からの宿泊旅行者が順調に増加しつつあります。第一四半期を終えた現在では、次年度以降の予約リクエストに移行しているところです。

欧米豪以外の主要ターゲットである、台湾、香港等のアジア圏については、徐々に認知度も高まりつつあり、引き続きSNSを軸としてプロモーションを行い、機を逃さず情報発信することで、秋季～冬季の誘客に繋げることとしています。

また、新たな切口によるプロモーションとして、「サステナブルな観光地：海の京都」を積極的に打ち出し、海外旅行者から「選ばれる観光エリア」を目指しています。



新ツアー・オニトレイル



海の京都DMOと森の京都DMOの共同プロモーションで進めるATK（アドベンチャーツーリズム京都）事業にて国内外のAT関連エージェントを招聘し「Oni trail Highlight short 3泊4日ガイドツアー」を実施しています。

現在販売中の鬼トレイルは京都府北部、大江山の鬼が丹後半島の海沿いにある立岩に封印された鬼伝説をたどる100kmのロングトレイル。大江駅をスタートし、交通遺跡・宮津街道、大江山連峰縦走、地形の特異性が長い年月を経て創り出した天橋立松並木、ユネスコ山陰海岸ジオパークを含む変化に富んだルートを地元アウトドアガイドとウォーキングするアドベンチャーツアーとなっており、鬼を通じて読み解く地域の歴史や文化、里山と里海が織りなす日本の原風景と暮らしを体感するコンテンツとして欧米豪の歩く旅を好むATトラベラーをターゲットにプロモーションを展開中です。一方、Oni trail Highlight short は、天橋立をゴールとする40km版で、今後メイン商材として販売予定です。

DMOサロン開催 綾部市・与謝野町

令和5年度DMOサロンを綾部市と与謝野町で開催し、総勢70名を超える参加者となりました。

DMOからは、海の京都コイン事業やデータ交換所プロジェクト、綾部市内におけるアンケートの分析結果の報告を行い、参加者からはプロモーションや観光客誘致についてなど様々な意見交換ができました。

今年度は海の京都エリア全域で開催いたします。
 次回は京丹後市（10月日時未定）
 ご参加をお待ちしております！



綾部市で8/7開催されたサロンの様子

SNSの取組状況

Instagram・Facebook・Threads



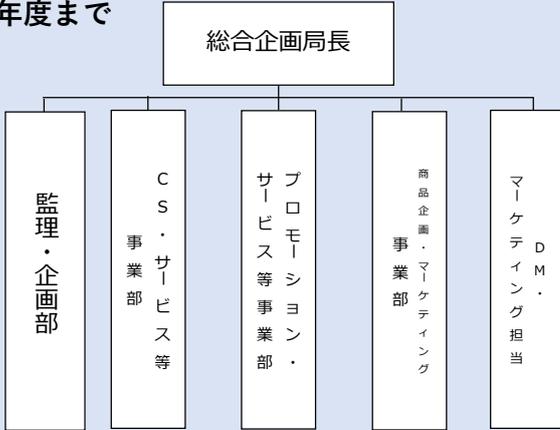
- Instagram : 14,570フォロワー
 4月～7月での投稿数は18件で、リーチ数14万、いいね1.3万、記事保存は1,156されています。
 6月からは少し趣向を変えてイベントやスポットを文字入画像の表紙とともに皆さんへお届けしています。
- Facebook : 4,004フォロワー
 4月～7月での投稿数は16件、リーチ数は3.5万、いいね2,500、シェアは102されています。
 4月末の記事からは英語翻訳も記載して、海の京都エリアの紹介をしています。
- Threads : 1,254フォロワー
 7月26日より新たな発信ツールとして、Threadsを始めました！
海の京都について知りたい方は、ぜひフォローしてください！

総合企画局

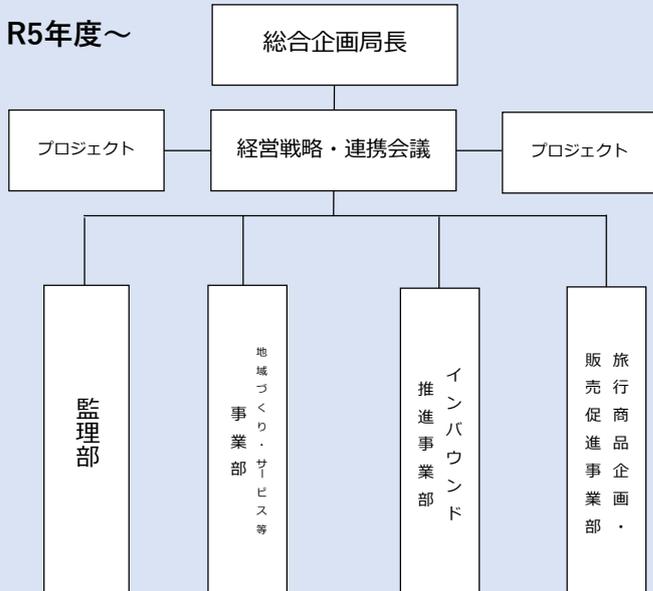
経営戦略・連携会議+4事業部体制へ

これまで5つの事業部に分けていましたが、4月より4つの事業部としてスタートしました。すべての事業においてマーケティングは重要な位置づけであり、より重視するために「経営戦略・連携会議」を1月から先行してスタートしています。

R4年度まで



R5年度～



総合企画局 人事異動 【令和5年4月1日付け】

退任

お世話になりました！

局長
 村上 章（丹後広域振興局へ）

商品企画・マーケティング事業部長
 松田 好朗（JTＢへ）

プロモーション・サービス事業部
 石田 圭佑（福知山市へ）

文化観光サポーター
 福原 敬一

着任

よろしくお祈いします！

局長
 亀谷 義忠（かめたに よしただ）※京都府から

旅行商品企画・販売促進事業部 部長
 西川 幸治（にししかわ こうじ）※JTＢから

地域づくり・サービス等事業部 主任
 尾崎 圭祐（おざき けいすけ）※京丹後市から

文化観光サポーター（与謝野町エリア担当）
 Bowman純子（ぼーまんじゅんこ）

◆編集・発行者
 一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社
 （通称：海の京都DMO）

〒629-2501 京都府京丹後市大宮町口大野226
 京丹後市役所大宮庁舎内
 TEL：0772-68-5055
 FAX：0772-68-5056

e-mail:info@uminokyoto.jp
 URL:<https://www.uminokyoto.jp/> →



海の京都DMO・Kyoto by the Sea



uminokyoto_official



uminokyoto_official